

日本語・学習支援教室 活動状況についてのアンケート結果 報告書
(2022年5月2日現在)

公益財団法人横浜市国際交流協会 YOKE

実施目的：横浜の日本語・学習支援教室の現状を把握するとともに、アンケートの結果から得た、課題や工夫を共有し教室の支援に役立てる。

実施期間：2022年5月2日～18日

対象：137教室

日本語・学習支援教室データベース（横浜）掲載団体（地域日本語教室および学習支援教室）
<http://www.yoke.or.jp/jdatabase/search.html>

回収：94教室（回収率69%）

（注）（同じ団体が複数の教室を開催している場合があります）

概要：

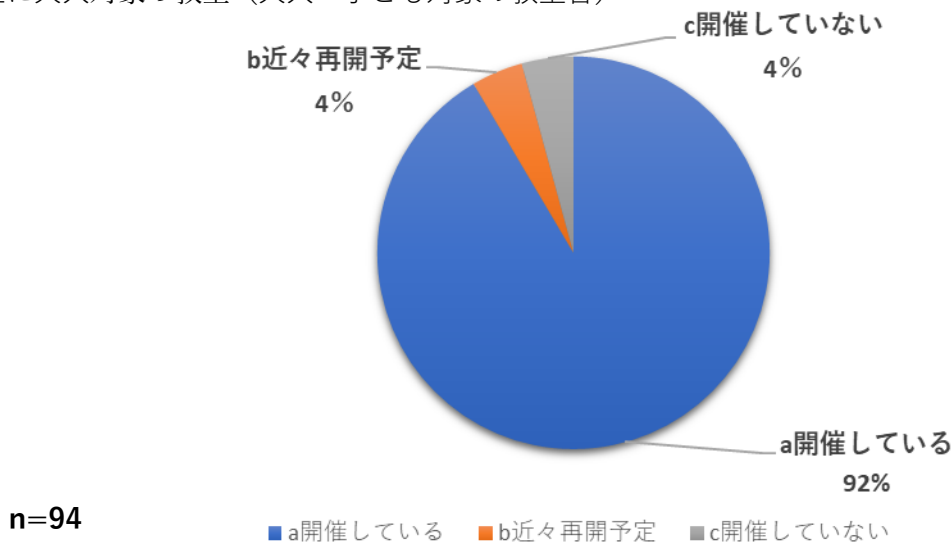
【質問1】開催状況

(1)5月2日現在の教室の活動状況について教えてください。

a 開催している b 近々開催予定 c 開催していない

| 開催状況 | 全体 | | 主に大人対象の教室 | | 主に子ども対象の教室 | |
|-----------|-----|-----|-----------|-----|------------|-----|
| | 教室数 | 割合 | 教室数 | 割合 | 教室数 | 割合 |
| a 開催している | 86 | 92% | 59 | 87% | 25 | 96% |
| b 近々開催予定 | 4 | 4% | 5 | 7% | 0 | 0% |
| c 開催していない | 4 | 4% | 4 | 5% | 1 | 4% |
| 合計 | 94 | | 68 | | 26 | |

※主に大人対象の教室（大人・子ども対象の教室含）



【質問 2】開催形態及びその工夫

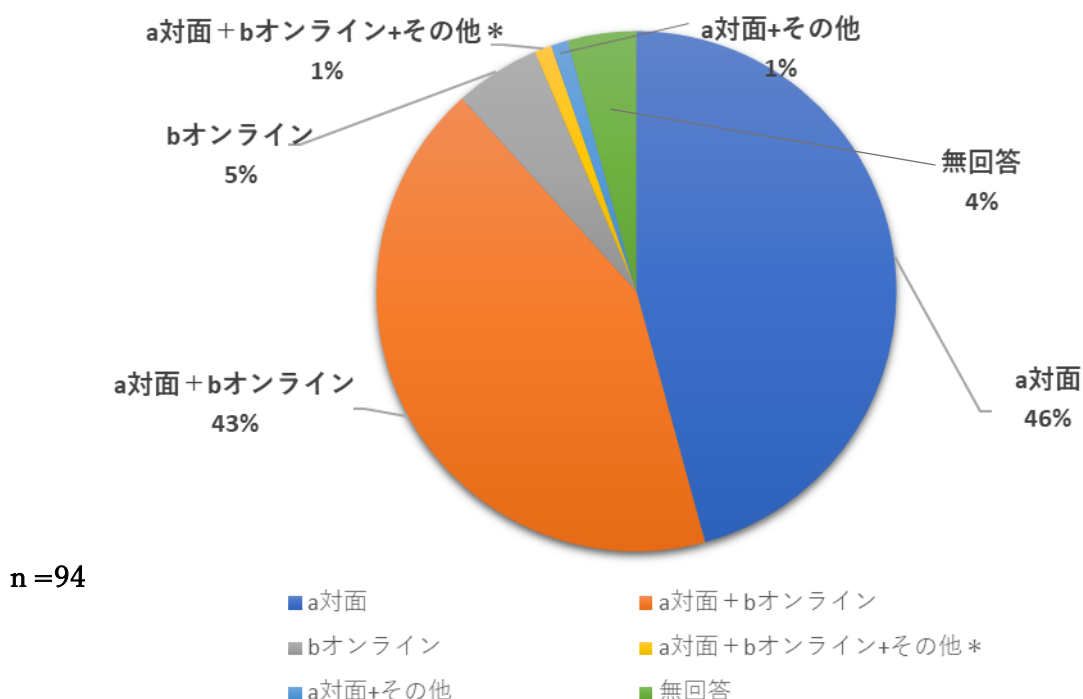
(1) 開催形態

(1)で「a 開催している」「b 近々再開予定」を選択した団体の方は、どのような形で開催されますか

a 対面 b オンライン c その他 (複数回答可)

| 開催状況 | 全体 | | 主に大人対象の教室 | | 主にこども対象の教室 | |
|-----------------------|-----|-----|-----------|-----|------------|-----|
| | 教室数 | 割合 | 教室数 | 割合 | 教室数 | 割合 |
| a 対面 | 43 | 46% | 31 | 44% | 12 | 46% |
| a 対面 + b オンライン | 40 | 43% | 29 | 43% | 11 | 42% |
| b オンライン | 5 | 5% | 5 | 7% | 0 | 0% |
| a 対面 + b オンライン + その他* | 1 | 1% | 1 | 1% | 0 | 0% |
| a 対面 + その他* | 1 | 1% | 0 | 0% | 1 | 4% |
| 無回答 | 4 | 4% | 2 | 5% | 2 | 8% |
| 合計 | 94 | | 68 | | 26 | |

※その他：メールでの作文クラス



(2) 開催形態の工夫

(1)で、「a 開催している」「b 近々再開予定」を選択した団体の方、開催の形態について、少し詳しく教えてください。方法・内容及びメリット・デメリット等。

(a) 対面開催での工夫

- ・小人数制（個別・グループ）で指導。
- ・定員を設定している/通常定員の半数にしている。
- ・可能な限り 1 対 1 で実施。
- ・パーテーション、消毒、二重マスク、フェイスシールドの使用。検温、換気の実施。
- ・通常 90 分を 50 分に短縮し、回数を増やしている。（多くの学習者に参加してもらえるよう）
- ・学習者の希望によりオンライン対応をしても 1～2 か月に 1 度は対面で会えるようにしている。

- ・乳幼児も対象なので、対面で実施している。

<対面開催のメリット>

- ・対面だと子供たちの様子がよく分かる。
- ・教材がその場でいろいろ使用できる。
- ・学習者の理解度が分かりやすい。
- ・表情、呼吸を感じられたり、アドリブや笑い声も楽しく盛り上がる。学習者も喜んでいるし、サポーターの孤独化も防げる。

<対面開催のデメリット>

- ・少人数対応のためサポーターの数が多く必要になること、広い会場や複数の会場が必要になること。
- ・コロナ以降会場予約が必要となり、1団体1日1回の利用・予約、変更が1か月前に必要ななどの制約がある。

(b) オンライン開催での工夫

- ・学習者の希望によりオンライン対応も可
- ・サポーター1人に対して学習者1～2人（対面より少なく設定）
- ・年に3回 Zoom で一斉授業を開催している。
- ・遠方に引っ越した学習者はオンラインで対応。（同様の回答複数あり）

<オンライン開催のメリット>

- ・ハイブリッド開催により、学習者のニーズに柔軟に応えられる。
- ・時間、場所の制約がなく活動しやすい。

<オンライン開催のデメリット>

- ・通信状況の影響を受ける。
- ・オンライン操作のできる人が一人だけなので多くの学習者を受け入れられない。
- ・資料作成に費やす時間が長い。

(c) その他

- ・対面を原則としている。（同様の回答複数あり）
- ・これ以上オンライン学習は成り立たないと思い対面にした。
- ・学習者も対面を希望している。
- ・感染症を気にするサポーターは長期で休んでいる。
- ・対面を基本としており、オンラインのみ希望する人は受け入れていない。
- ・学習者の希望によりオンライン対応をしている。
- ・学習者は教室に通う必要がないので、オンラインを希望している。
- ・感染状況を見て、オンラインへの変更など柔軟に対応している。
- ・希望者には家庭訪問し Wi-Fi 接続、設定のお手伝いをしている。
- ・コロナ禍で、学習者の方は仲間と話したい、という気持ちが強い。
- ・何気ない会話や、やりとりが大切だと感じる。

【質問3】開催していない状況

【質問1】(1)で、c「開催していない」を選択した理由や代わりにされている工夫などがありましたらご記入ください。

- ・対面の教室は感染症予防のため休止中。オンライン希望者はサポーターが個別に対応している。
- ・サポーターとして活動できる人が不足している。

【質問4】現在の教室で募集中のものについて

(1) 当てはまるところにチェックを入れてください。

(HP掲載の「学習者・ボランティア募集希望教室リスト」ご参照)

- 学習者を募集している・支援者を募集している 56 教室
- 学習者を募集している 21 教室
- 支援者（ボランティア）を募集している 3 教室
- どちらも募集していない 11 教室
- 無回答 3 教室

(以下省略)

以上